

ぷふ
ろた
ろり
の
ぐ

{ Yuriko
and you
prologue }

R-18
Adult Only







こうして世界は
救われ、ふたりは
故郷へと帰り

日常を取り戻し
平和に過ごした、
と伝えられている



はあ…

私も……
運命の騎士に

こんな風に…

何やって
るんだ？

えっ？！
プロデュー
サーさん!?



えっいや
特に何も…

何もして
ないですよ



わわっ!?

こて

百合子!?



いてて…
百合子…

怪我は
ない…かつ!?

ギョウ…

あ…

あ…

ん…



すまない!

私の…その
不注意ですし
いいえ…

何か…
詫びさせてくれ!

そんな…
気にし過ぎ
ですよ

いやだが…
このままでは
申し訳が立たない…

あ…

あ…

それじゃあ…

一つだけ…

聞いて
くれますか？

プロデューサー
お疲れ様でしたー

おう
お疲れ様

もうこんな時間か
待っていてくれ、と
言っていたが…
はずなんだが…

遅くなつて
すみません！

百合子！

てっ…
手紙です!!

読んで
下さい！

あー！

よ、読むぞ

はい！

なまなま...

私の想いをここに
綴ります

七尾百合子

最初は不安で
いっぱい...

かん...

でも友達と
助けあったり

アイドルになんて
向いてないのかな

なんて
思ったりも
しました

アイドルがとても
楽しくなっていました
プロデューサーさんにも
とてもお世話になり...

慰めて
くれたり...

ガシガシ

支えてくれたり...

たまには変なことも
起こっていたけれど...

プロデューサーさんには
感謝してもしきれない
くらい感謝して
います！

その…ちゃんと
形に残るもので
気持ちを伝えたくて…

そう…なの
か
ありがとな…
百合子

いつも…本当に
有難う御座います!!

1つ気になったんだが
最後の部分途中…か？

それは…

これだけはちゃんと
言葉にしないと…って
思ってた

そして…

…？

私…



大好きです

私…その…
ですね…

プロデューサー
さんの事が…

ドキ ドキ



キ

キ



百合子がここまで
してくれているのに
オレは…!!

えっと
その…

ど、どんなことよりも…
プロデューサーさんの事が
大好きで…大好きで…
その…あの…

次はオレが
答える番だ…!!

ガッ

百合子!!

唐突にすまない!
けど…これが百合子に
対するオレの…
オレの答えなんだ

あのっ…あ…
プロデューサーさん…

ふんふん

あ、あの…
それじゃあ…

夢じゃないって事を
確認したいんです

だから…
もう一度…

もう一度どころか…

何度でも
確認すれば良い



はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

プロデューサーさんに
もっともっと...

私の事知って
もらいたいです...

はあ...

お願い
します

はあ...



胸大きい方が好きですよ

んん...♡
ちよ...ちよっと
恥ずかしいですね

あ...♡
やっぱり...

ドキ



んん...



んん...
すごい可愛い
胸だ

そんなことはないぞ



んん...
あ...♡
そこは...

百合子の全てが
愛おしい





百合子…
挿れるぞ

はい…

これが私の
膣内に…

うわあ…

おっ…
大きい



あ…
あ…
あ…

プロデューサーさんの…
私の膣内に…

すごい熱くて…
火傷して…
しまいそうです

プロデューサー
さん…また…

キスして
もらえ
ませんか



はあー！
くしゃくしゃ

プロデューサーさんに
魔法を掛けられちゃった
みたいです…

体が溶けてしまい
そうなくらい熱くて

頭がポツと
して…きちゃい…
ましたっ

奥まで
プロデューサーさん
のモノが…

おっ

届いて…っ

ズッ
ズッ



もっ…

もっ

プロデューサーさんを
感じさせて…ください

うっ



百合子ツ!!

キ

ハッ

ハッ

ハッ



嬉しい…です

プロデューサーさんと…
私…今同じ気持ち…
なんですよね

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

体が熱くて…
頭が真っ白に
なりそうで…!!

すっ
ぽっ
ぽっ

オレの方さ!!

魔法を
掛けられたのは…



プロデューサーさんの
すごい奥に…当たって

もっと
プロデューサーさんを
感じたい…!!



頭が真っ白に
なりそう…です



ああ
まかせろ!!





ハッハッハッ

グッ

ハッハッハッ

グッ

プ...プロ
デューサーさん...

うっはっ...

ハッハッハッ

ハッハッハッ

出して...
くれたん...ですね

ハッハッハッ

…やっぱり

プロデューサーさんは
私の運命の騎士ですね

それは
ですね…

?
どうしたんだ
突然?

プロデューサーさん
といると

これからももっと
もっとアイドル
頑張ります

ずっとそばに
いてくださいね

だから…

プロデューサーさん

頑張ろうって
思えるんです

後書

この度は「ふたりのプロローグ」を手にとり頂き有難うございます。
本来は去年のミリフェスで出すつもりだったのですが
落としてしまい、このタイミングでの発行となりました。
イチから作り直したいと思うこともあったのですが取り敢えず形に
なってくれて良かったです。

百合子が好きで去年の映画でも登場して動く姿を見て
より好きになり、多少理解したつもりだったのですが
どういう内容の本にしようか…と考案するに連れて、なんというかどこにでもいそうで
いない美少女という感じで形にするのが難しいな…
という感想を抱いていきました。

今回は真面目な方向性の本になりましたが、次回もし描く際は百合子のはっちゃけた
というか暴走してしまいがちな面を全面に描いたものが描けたらな、と思っています。

ゲームもキャラ人数が限られてるだけあって他キャラとのつながりやキャラ自体の
掘り下げがガンガンされていってとても楽しいですね。

もっともっとミリオンが盛り上がってってくれることを切に願います。

奥付

著者:まめでんきゅう

サークル:Garimpeiro

連絡先:garimpeiro@light-bulb.sakura.ne.jp

印刷:ハイビジョン印刷ドットコム

発行日:2015年7月12日

※無断での転載、アップロード等を禁止します。



{
Yuriko
and you
prologue
}

THE IDOLM@STER
MILLION LIVE!
FAN BOOK

Presented by Garimpeiro

